

## 2022 年度 北海道サケネットワーク総会 要録

日 時： 2022 年 5 月 28 日（土）13:30～14:30

会 場： TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前（毎日札幌会館 5 階）

<全体進行 事務局長 高橋 壽一>

【挨拶】 北海道サケネットワーク代表 阿部 周一

3 年振りの対面総会だが、是非活発な議論をお願いしたい旨、挨拶があった。

### 【議 事】

#### 【報告事項】

##### 1 会員の現況（報告）

正会員と特別会員のリストに変更がいくつかあり、後ほど訂正して情報共有の予定。

##### 2 2021 年度活動実績報告

- ① 21 年度サケネットワーク総会・サケ会議の開催（オンラインで書面協議）
- ② ホームページの編集（21 年 3 月現在 最新）
- ③ ニュースレターの発行（No.64/21.5.10 発行, No.65/22.1.5 発行）
- ④ サケマス情報プラットフォーム第 2 回配信「岩手のサケはどこへ行く!!」（岩手大学 研究・地域連絡部釜石キャンパス 田村直司氏 21.6.14 発行）



#### 【協議事項】

##### 3 2021 年度収支決算及び監査報告 <資料 1>

活動実績報告と決算監査報告については、特段の意見が無く了承された。

##### 4 2022 年度活動計画案

- ① 22 年度サケネットワーク総会・サケ会議を開催する。（本日の予定どおり）
- ② 会報 13 号を発行する。特集号「設立 15 周年を迎えて」とする。  
編集担当の浦野顧問から、会員を含め関係の方々から原稿を集めて特集号を作成したい旨、発言があった。
- ③ ニュースレターを発行する。（No.66 発行済/22.4.15）
- ④ サケマス情報プラットフォームを発信する。（阿部代表を中心にテーマ等を検討中）

##### 5 2022 年度収支予算案 <資料 2>

提案どおり了承された。

##### 6 2023 年度総会・会議開催地について（標津町を提案）

会員が道内各地にいるため、元々総会・サケ会議は札幌以外でも開催されてきた。標津は古くからサケ漁が盛んで、開催地にふさわしい。標津サーモン科学館・市村館長より手を挙

げていただきながら、コロナ禍で開催検討が延期されて来た。メリットとしては水族館である科学館で開催出来ること（ただし4月以降は無休になるので、17時の閉館後となる）がある。或は近場の町の施設も使用出来る。当会としては、今年同様サケ会議と総会を5月前後に開催したい。標津からの提案として、市村館長が関係するサケ学研究会とのコラボや、浦野顧問からの発言として他のサケ関連の団体とのジョイントで、内容をオンライン発信出来ればとの提言があった。当ネットワークとしても、広くオンラインで内容を発信することは、設立の趣旨からも妥当だと思われる。今後時期及び内容については、各提案を勘案しながら検討を進める。

審議の結果、特段の反対意見もなかったことから、次回開催は標津で開催の予定となった。（阿部代表より、標津は遠いので、交通手段・宿泊などの案内を詳細にお願いしたい、という趣旨の要望があった。）

#### 7 会員（団体）の活動概要の報告（当会への要望・意見、将来展望など）

**大雪と石狩の自然を守る会 寺島代表：**サケが旭川に戻るようになってから20年となる。現会員約300人。忠別川から石狩川本流にかけて多数の産卵床が出来ている。会としては、いかに市民に関心を持ってもらうか、子どもたちの教育への貢献が出来るかが課題である。自然ウォーク、学習会などを開催している。現在の課題としては、忠別川の取水堰にある魚道が通り難くなっており、その手前が過密になっている。市に依頼してこの魚道の改修が出来ればと考えているが、改修費用が高ければ水道料金の値上げにも繋がりがねず悩んでいる。



サケの放流



標津サーモン科学館

**標津サーモン科学館 市村館長：**標津町が根室市、別海町、羅臼町とともに「鮭の聖地」として日本遺産に指定され、科学館2Fにサケの歴史に関する展示を増設。最近の取り組みとしては、サケ産卵の不適地（科学館の傍の川）について、直線場所に蛇行部分を付ける試みをしたところ、産卵の率が23%→60%と向上した。今後とも町内全域について、同様の試みをして行きたい。

**豊平川さけ科学館 佐藤主査：**この2年は臨時休館が多く、入館者2~3割減。産卵床調査自体はコロナとは無関係なため、粛々と進めた。今年の例では、サケ577カ所、サクラマス

706ヵ所を確認した。5月の体験放流と放流式には約30人の市民が参集した。現在はSWSPと共に野生のサケの増加を企図しているため、放流数を20万→7～8万と絞っている。イベントでの採卵を多くして、市民啓発に力を入れている。またサケ皮による工作などの取り組みも増やしている。

8 その他 \*役員は継続年である。現役員は本会報裏表紙の表の通り。

2022年度 収支予算

<資料2>

<<収入の部>>

(単位：円)

科 目	前年度予算額	22年度予算額	増 減
前期繰越金	91,599	101,324	9,725
会 費	40,000	40,000	0
寄 附 金	0	0	0
雑 収 入	0	0	0
合 計	131,599	141,324	9,725

<<支出の部>>

科 目	前年度予算額	22年度予算額	増 減
手 数 料	2,000	2,000	0
通 信 費	5,000	5,000	0
消 耗 品 費	2,000	2,000	0
会 議 費	30,000	30,000	0
HPサーバー利用料	20,000	20,000	0
予 備 費	72,599	82,324	9,725
合 計	131,599	141,324	9,725

## <資料1>

### 北海道サケネットワーク 2021年度 収支決算報告

#### <収入の部>

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金	91,599	91,599	
会 費	40,000	34,000	8団体
寄 附 金	0	18,600	HPサーバー利用料
雑 収 入	0	0	
合 計	131,599	144,199	

#### <支出の部>

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
手 数 料	2,000	1,725	郵便振替
通 信 費	5,000	0	郵送料
消 耗 品 費	2,000	0	用紙・封筒事務用品
会 議 費	30,000	22,550	会場費等
HPサーバー利用料	20,000	18,600	
予 備 費	72,599	0	
合 計	131,599	42,875	

<次年度繰越金> 144,199-42,875=101,324

#### 2021年度 会計監査報告

北海道サケネットワークの、2021年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の会務、並びに会計の収支決算報告書について、関係諸帳簿などを監査した結果、適正に執行・処理されていると認めます

2022年 4月 19日

監 事 鈴木栄治 

監 事 佐藤信洋 